

(参考様式5)

### 事業活用活性化計画目標評価報告書

|               |         |      |         |           |
|---------------|---------|------|---------|-----------|
| 計画主体          | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間    | 実施期間      |
| かつらぎ町         | 303411  | 1    | H19～H22 | H19～H22   |
| 活性化計画の区域      |         |      |         | 事業費       |
| 西淀田地区 A=247ha |         |      |         | 83,000 千円 |

#### 1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標              | 目標値 A  | 実績値 B  | 達成率 (%)<br>B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|----------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の保全 | 11.4ha | 11.4ha | 100.0%         |    |

(コメント)

これまでの農道は非常に狭小であり、一部車両同士の対向ができないなど、ピーク時における生産物や生産資材の運搬に多大な労力を費やしていたが、農業用道路の整備により、道路幅員が拡幅され、農作業の効率化が図られた。

#### 2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名  | 事業内容及び事業量           |          | 事業実施主体           |
|--|---------------------|----------|------------------|
| 農業用道路  | 農道 L=1,040m W=4.00m |          | かつらぎ町            |
| 管理主体   | 事業着工年度              | 事業竣工年度   | 供用開始日            |
| かつらぎ町  | 平成 19 年度            | 平成 22 年度 | 平成 23 年 3 月 15 日 |
| 事業の効果  |                     |          |                  |
| 本地区の農道は非常に狭小であり、一部車両同士の対向ができないなど、ピーク時における生産物や生産資材の運搬に多大な労力を費やしていたが、農業用道路の整備により、走行性、耐久性、安全性、物流の効率化及び排水機能の向上が図られ、農業の生産性が向上した。さらに、維持補修に係る経費の縮減等が図られた。 |                     |          |                  |

#### 3 総合評価

(コメント)

農道の拡幅及び新設という当初の目的を達成することにより、農産物輸送の車種転換が可能となり、輸送時間の短縮が図られた。また、スピードスプレヤ (SS) 等の大型機械の導入による労働時間の短縮等労働条件の向上による、定住の促進など地域の活性化が見込まれる。

#### 4 第三者の意見

(コメント)

本交付金事業の実施により基盤整備事業に着手でき、妥当である。